

列車乗降ドアの半自動扱いについて

2023年3月8日

JR四国では、現在、車内換気強化のため一時的に全ての列車の乗降ドアを自動扱いとしていますが、冷暖房効果保持による車内快適性の向上を目的として、特急列車と一部普通列車を除く、ドア開閉ボタンが設置された全ての普通列車（ワンマン含む）及び快速列車において半自動扱いを実施しますのでお知らせいたします。

1 実施日

2023年3月18日（土）から

2 対象列車

ドア開閉ボタン設置車両

設置車両・両数 (合計 199 両)	5000 系 (18 両)、7000 系 (36 両) 7200 系 (38 両)、6000 系 (6 両) 1000 型 (38 両)、1200 型 (18 両)、1500 型 (34 両) 9640 形 (11 両) (土佐くろしお鉄道(株)所有車両)
-----------------------	---

※5000 系「マリンライナー」については高松駅のみ半自動扱いを実施します。

3 ご利用方法

- ・ドア横のボタンのランプ点灯後、ボタンを押すとドアが開きます。
- ・車内からはドアを閉めることもできます。
- ・ドアを閉める際には、他に乗り降りするお客さまがいないことをご確認のうえボタンを押してください。

4 その他

ドア開閉ボタンを設置していない車両で運転する列車については、従来通り自動でドアが開閉します。なお、キハ 47 形式は期間を定めて半自動扱いを実施します。

未設置車両・両数 (合計 53 両)	キハ 40 (9 両)、キハ 47 (11 両) キハ 32 (21 両)、キハ 54 (12 両)
-----------------------	---